

小学校 第6学年 国語科 学習指導案

北海道新篠津村立新篠津小学校
教諭 吉成 拓人

単元名 『アイスが暑いほどおいしい?』(『雪は新しいエネルギー』とあわせて7時間)

単元のねらい ● 文章と資料をあわせて読み、筆者の考えをとらえる。

本時のねらい グラフの意味や構成要素を理解し、文章の内容や筆者の考えをとらえることに役立てる。(第1時)

指導時期 5月下旬

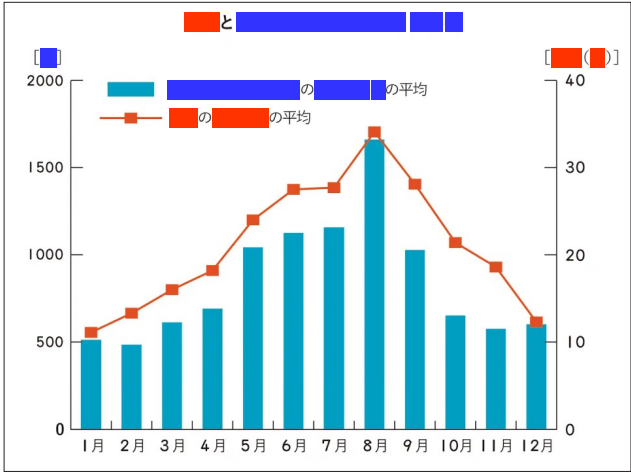
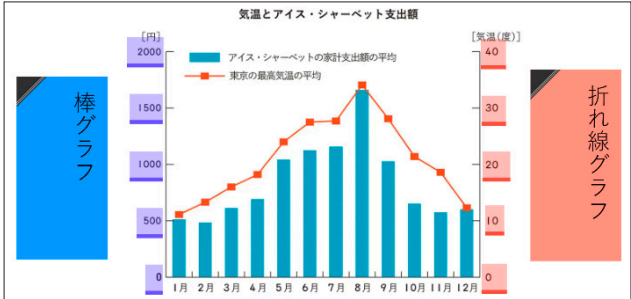
指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

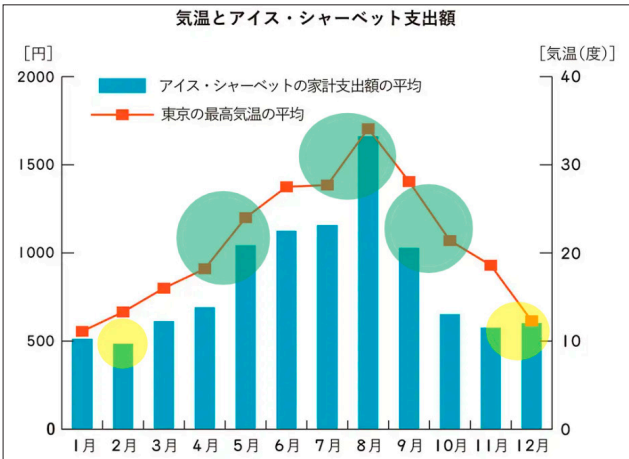
本単元では、文章と資料をあわせて読むことで、筆者の考えやそのように考える理由を捉えさせたい。本時の導入では、教科書にある情報の一部が隠されたグラフを提示することで、文章とともにグラフに着目していくことを意識づけたい。グラフの意味や構成要素をまず予想し、考えることで、文章を読むことへの期待感をもたせることもできると考える。その際に、「指導者用デジタル教科書(教材)」やデジタル機器は、該当箇所を簡単に隠したり、表示させたりすることができる。

また、文章と資料を並べて表示することで、相互の関係を捉えやすくなることも期待できる。文章と資料を並べ、関連する部分を色分けすることで、視覚的にも筆者の考えを捉えるためのヒントになると考える。

本時(第1時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	● 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。	

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報が隠されたグラフが何を表しているか考える。 ● 資料であるグラフに着目させる。 T：このグラフは、何を表していると思いますか。 C：左側のほうが数字が大きいね。 C：横軸は12か月に分けられている。 C：どちらも8月がピークになっているから暑さに関係しているかも？ C：じゃあ、右は気温じゃないかな。 C：だとすると、折れ線グラフが気温だと思う。棒グラフだと、9月が20度になっちゃう。 C：棒グラフは、1000とか2000とかだね。暑い時期に多くて、寒い時期に少ないということとは……。 	<ul style="list-style-type: none"> ● マーカーの暗記ペン機能の活用 ● 教科書にあるグラフの凡例や単位を隠したグラフを提示する。 ● 必要に応じて、細かくマーカーを引いておき、少しずつ表示させることで、ヒントにしてもよい。 
<p>グラフの内容をつかんで、文章の読み取りに役立てよう。</p>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● グラフを参照しながら、それぞれの段落の内容を読み取る。 T：グラフにはどんな情報があるか、本文を読みながら確かめましょう。 T：棒グラフと折れ線グラフは、それぞれ何を表していますか。 C：棒グラフは、「一家族がアイスなどに平均して支出するお金」です。 C：折れ線グラフは、「東京の最高気温の平均」を表しています。 T：左右の縦方向の目盛りは、棒グラフと折れ線グラフのどちらに対応していますか。 C：左の縦軸は棒グラフ、右の縦軸は折れ線グラフに対応した数値を表しています。 T：横方向の目盛りは？ C：1～12月の各月を表しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ズーム、国語マーカー、ふせんの活用 ● 本文に書かれている内容がグラフのどこに対応するか、色分けしながら一目でわかるようにする。  <p>「気温とアイス・シャーベット支出額」というタイトルの上の図では、棒グラフと折れ線グラフが一つに重ねられています。どちらがなんのグラフかわかりますか。</p> <p>図には、説明がありませんね。棒グラフは、一家族（世帯）がアイスやシャーベットに平均して支出するお金を、折れ線グラフは、東京の最高気温の平均を表していることがわかります。</p> <p>次に、目もりを見ましょう。縦方向の目もりは二本あります。単位を見ると、グラフの左側の縦軸は、棒グラフに対応してアイス・シャーベットの支出額を、右側の縦軸は、折れ線グラフに対応して東京の気温を表していることがわ</p>

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体の傾向や1年間の変化を言葉で表現し合う。 ■ T：グラフ全体の傾向はどうなっていますか。 ● C：気温が上昇したら、アイスなどで支出するお金が増えています。また、気温が下がったら、支出も減っています。 ● C：でも、気温が上がったのに、支出が減っている月もあるよ？ なんでかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ズーム、図形の活用 ● グラフの傾向で顕著な箇所に印をつけて、言葉にする際のヒントとする。また、色を変えて、例外を示してもよい。 
	<ul style="list-style-type: none"> ■ T：1年間の変化を37ページの「大事な言い方」の言葉を使って表現しましょう。 ● C：平均気温が「急げきに」変化した月は、アイスなどで支出するお金も「急げきに」変化しています。 ● C：平均気温の変化が「わずかな」月は、支出額の変化も「わずかです」。 ● C：例外として、平均気温が変化しても、支出額が「横ばい」となっている月もあります。 	<div style="border: 1px solid green; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">大事な言い方</p> <p>● グラフの変化を表す言い方</p> <p>変化が大きい 急げきに・げきてきに・急速に・一気に・大はばに など</p> <p>変化が小さい だんだんと・じょじょに など</p> <p>変化なし 横ばい・ていたいする・安定している・保っている など</p> <p style="text-align: left;">↓44ページへ</p> </div>
まとめ	<p>本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グラフの変化を言葉で表現してわかったことや、難しいと思ったことを交流させる。 ● 筆者が書いた文章と資料は関係があることを押さえておく。次時以降の学習の見通しをもたせておく。 	

指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られた効果

「マーカーの暗記ペン機能」

- 隠したい部分だけを簡単に隠すことができ、その部分を表示させることも容易である。
- 隠された部分があることで、児童の関心・意欲を高めることができる。
- 必要に応じて単語や文節で区切って隠すことで、少しずつ表示させることもでき、考えが浮かばない児童へのヒントにすることもできる。

「国語マーカー」

- 色分けすることで、どこが対応しているのか視覚的に見分けやすくなる。また、簡単に修正することができるので、考えをきれいに整理することができる。
- 「ふせん」も併用しながら、メモを残すことができる。